



# 麻生のまちづくり



麻生まちづくり市民の会広報

第8号 2004年10月

## 他区のまちづくりを知る・情報を交換しよう・人のつながりをつくらう

### ～ 第1回かわさき・まちづくり交流会 in あさおを開催～



今年2月14日「市民自治創造・かわさきフォーラム・街を耕そう」で発表された各区のまちづくりの状況は驚くほどの違いがありました。

そこで、7区のまちづくり推進組織で交流会を作ってまちづくりに役立てようということになりました。第1回目は9月11日麻生区で開催され69名が参加しました。麻生まちづくり市民の会が取り組んできた支援ルームと、隠れ谷（やと）公園の2箇所に加えて、日本の都市景観100選に選ばれた新百合丘駅前、今年で21回を迎えたかかし祭りを見

学。当日好天にも恵まれ、のんびりと歩きながら会話をしました。会場にもどり、ワークショップ形式で8グループに分れて、自己紹介、見学地の感想、他区との違い等を話し合いました。交流会終了後、懇親会をレストランあさおにて開催しました。

交流会では、支援ルーム自主運営、住民参加によって再整備された隠れ谷公園、駅に近い場所での体験農業などに賛辞が寄せられました。

今後の「かわさき・まちづくり交流会」の発展が期待されます。

麻生まちづくり市民の会、今後のスケジュール(どの会も傍聴が出来ます。会場は区役所地域振興課に問い合わせ下さい)

運営委員会…………… 10月12日(火曜日)14時から、10月26日(火曜日)14時から

実践部会…………… 10月7日(木曜日)15時30分から

パートナーシップ推進部会… 10月1日(火曜日)18時30分から

バックアップ部会…………… 10月6日(水曜日)14時から

# 市民の手ですすめてまーす “まちづくり”

## ● 実践部会

重点化したテーマに基づいて、まちづくりの実践活動を行う

### A. 道路・交通小委員会

岡上跨線橋付属歩行者用階段改善策提案  
運営委員会に地域の実態を報告し、今後の活動方法を検討しています。

#### ひやりマップ作成

7月1日 公立小5校の校長と検討会を開催しました。PTA校外委員会にアンケート協力を依頼することになりました。9月の麻生区校長会で、全校での実施について了解いただく予定です。

### B. 緑・環境小委員会

#### 葉積緑地整備

9月2日 片平小4年の課外授業「クリーンデー」と合同で実施しました。実践部会10名 小学校関係60名 川崎自然調査団7名 公園事務所8名が参加。今後、清掃活動を毎月4土曜午前9時から行うことに決めました。

#### エコライフチャレンジ

10月10日区民まつりで「やさしいエコライフチャレンジ」のPRをします。

#### 山ゆりを象徴とした麻生のまちづくり

球根百球ほどを手配済みで、10月下旬ころ植栽の予定です。

### C. 福祉・コミュニティ小委員会

#### 盆踊り練習会

千代ヶ丘子ども文化センター・麻生老人いこいの家で合計4回を開催し、56名が参加しました。

これまでの活動を振り返り、課題として出てきたことは、地域住民との協力関係をどのように作っていくかということです。今後活動しながら模索していくことにします。

## 「山ゆり」講演会

10月7日(木)午後2時から

麻生区役所4階第3会議室

演題：(仮題)「山ゆりの故事来歴と育て方について」

講師：中島豪一氏(元  
神奈川県立フラワーセ  
ンター大船植物園業務  
部長)

やまゆり(山百合)【ゆり科ゆり  
属】6~7月頃、東北から近畿  
の山野に自生。花弁は白色で  
黄色の模様と赤褐色の斑点  
があり、強い芳香を放つ。

元都市マスコット委員 菅原陽子さんの絵



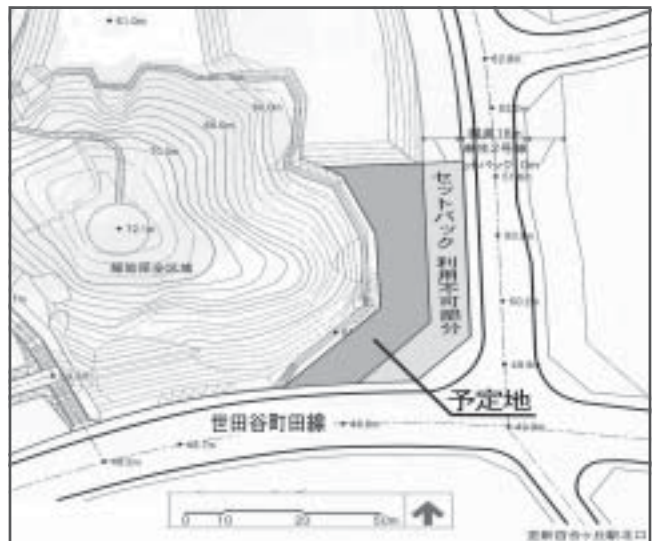
## ● パートナーシップ推進部会

行政とともにパートナーシップ型事業を企画し、その推進を行う

### アートセンター検討グループ

9月15日第4回目のアートセンター整備推進協議会が開かれ、アートセンターは、ホール機能(演劇・映画に対応)とクリエイティブなサポート機能を中心にした設備として進めることになりました。市民が参加して行ったワークショップでの意見は、反映されることにはならないようです。

敷地面積：1800㎡ 延べ床面積：約800㎡



## バックアップ部会

市民活動を支える、環境整備のための活動を行う

### 活動の場所の確保と情報提供小委員会

私達の小委員会は市民活動やサークル活動のための「場所探しと情報提供」を進めていますが、6-7月は老人いこいの家、こども文化センター、小中学校、その他公共・民間施設など68箇所にて照会調査を行い、47箇所から回答をいただきました。8月は実際にいくつかの施設を訪問し、その実態や貸出し状況について話を聞いてきました。8月から「麻生老人いこいの家でモデルケースとして夜間、休日に一般開放をすることになった」といううれしい情報も聞くことが出来ました。

9、10月は町内会や自治会で管理運営している会館、集会所、公民館などを対象に照会調査を進めていく予定です。

いずれにしても施設を開放している箇所は結構あるのですが、利用者が多く、これ以上受け入れる余裕が無いという施設もかなりあることが分かりました。

### 交流会・学習などの企画・実行小委員会

「達人シリーズ」の第2弾「運営の達人になろう」が去る7/31日、8/28日の両日行わ



れました。1回目「市民活動団体の活動資金・経理について」は30名もの参加者があり、3班に分かれ講師小倉敬子（LET'S

国際ボランティア代表）さんの指導のもと講演、ワークショップ、事例紹介、まとめの形で進められ、参加者から「団体運営に必要な活動資金の集め方から決算まで一連の会計処理システムがよく理解できた」との声もあり、2回目の「市民活動団体の組織運営について」も27名の参加者があり、ボランティア・市民活動に関わる意義から運営に必要な人材、必要機能、代表の役割などを考えさせられ再認識しました。

### 情報検討小委員会

6月15日から始まった、全11回の「初心者のためのパソコン講座」も8月24日をもって終了しましたが、操作の応用、実務的使用の要求の高まりから、後期講座をスタートさせる予定で検討を進めています。

### 区民活動支援ルーム運営委員会

平成14年の開室から数えて5回目の「支援ルーム利用登録者の集い」を8月7日に開催し、37団体、42名が参加しました。まず、竹市委員長から、自主運営も3年目を迎え、状況の変化に伴う制度改訂と簡易製本機・ラミネーターの設備拡充について報告がありました。

第1部では改正点の説明があり、印刷利用の1コマが1時間単位になったこと、印刷（1日3コマ）・会議（1日1回）の予約利用が月に各3回になったこと、料金精算が毎月第2水曜日にもできるようになったことなど、利用者の立場に立った改訂が高く評価されました。この後、レターケースの追加利用と次回の集いを「利用団体交流会」にしたいとの提案が示されましたが、参加者からは特に交流会に期待する意見が複数出されました。第2部では機器類の使用説明が行なわれました。

なお、集いの数日後には、早速ラミネーターを使用する利用者があった他、製本機の使用法を知りたいと来室する利用者があるなど、利用者のニーズを見据えた運営への手応えを感じつつ、今後も本格的自主運営へ向けて取り組んでいきます。

## ●麻生ハートフルエイジファッションショー

高齢者が地域社会に根ざしながら、健康づくり、生き甲斐づくりを実現できるように支援して4年目になります。あさお区民まつりも間近に迫り、出演者、スタッフ全員がファッションショーの成功をめざして準備に励んでいます。

今年は、エコファッション(リメイク)の紹介をメインに構成しています。留袖などの和服が参加者の工夫でどのようにリメイクされるか楽しみです。

また、区内で活動している社交ダンス・卓球・カラオケ・フラダンスの4団体も舞台上で技とファッションを披露してくれます。さらに、特別養護老人ホーム緑陽苑、緑陽白鳥老人ホームからの参加や、東京でモデルとして勉強している人たちも賛助出演し、男性だけのファッションを見せてくれるなど、多彩な参加者が舞台上で元気パワーを表現してくれる予定です。(麻生ハートフルエイジファッションショー 曾我恵美子実行委員長談)



## あさお区民まつり

10月10日に開催される「あさお区民まつり」には、今回初めてテントの半分を使えることになり、市民の会を知っていただくことと、主要な活動の紹介をします。

## コミバス問題で住民立ち上がる

麻生地域コミュニティバス協議会結成について  
去る8月26日、麻生区役所で協議会結成についての話し合いが行なわれました。

発起人の説明によると、コミバスに対する区内の意見 賛成・反対を自由に出してもらい、望ましい考えを集約した上で最も必要な地域へ導入することをめざしたい。その第一段階として、麻生区の町内会・自治会会長に依頼状を出し、各会内の状況をもとに意見をもち寄って話し合いたい旨要請。またその他の関係者にも声を掛けたとのことでしたが、当日の参加者は30余名でした。

発起人は、麻生まちづくり市民の会実践部会の道路・交通小委員長 内田さん、元麻生まちづくり会議・交通小委員長の碓井さん、水暮町内会長の岡野さん、そして高石地区の住民有志の代表 新井さんの4名で、それぞれの立場と考えを表明後、参加者との意見交換に入りました。前回の運行実験を踏まえ、次の運行実験を行う。尾根道を優先して時間をかけて検討する。市の交通体系の中で考える。採算性について。経済特区構想はどうかなど、わが地域にこそ導入という意見の一方で、さまざまな観点からの意見が相次ぎ、意見集約への取り組みが今後の課題になりそうです。また、さらに多くの人の意見も収集したいとのことでした。

今後の予定としては、バス会社・行政(警察、公安委員会、市土木、まちづくり局、交通局など)との連絡会やタクシー・小型バス運行会社・運転士会・整備士会などとの連絡会を経て、採算性についての協議会も行なうとのこと。

**編集後記** 第1回かわさき・まちづくり交流会」が麻生区で開催され、他区の方々の意見を伺うことで、見慣れた麻生の街がちょっと新鮮に見えました。各部会では、それぞれの活動も佳境に入り、市民と行政、または市民同士の協働を目指して、皆様のご支援ご協力が、ますます期待されるところです。(岡本)

発行：麻生まちづくり市民の会広報委員会  
連絡・問い合わせ先：麻生区役所地域振興課 電話965-5116